

【別紙】 令和3年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立里中学校)

(A4判横)

学校教育目標	真剣に学ぶ生徒 人間性豊かな生徒 心と体を鍛える生徒
目指す学校像	生徒一人ひとりを大切に、グリットを高め 絆を深める里中学校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	8名
事務局 (教職員)	3名

学 校 自 己 評 価					
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 (令和4年2月1日 現在)	
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
組織運営	<p>【現状】学校経営方針の実現に向けて、概ね組織的に取り組んでいる。</p> <p>【課題】課題解決に向けた新組織体制の円滑な運営が必要である。</p>	<p>○組織的に不登校生徒を解消する。</p>	<p>○①ステップルームに担当教諭を配置し、学級復帰を目指しながら、心の居場所となる新たなステップルーム経営を行う。</p>	<p>○【目標】不登校生徒の解消に向けて、組織的に取り組み、不登校生徒数の割合は4.4%から2.9%となった。(1/31現在)</p> <p>【方策】 ①今年度からはじめたステップルーム経営が機能している。</p>	<p>B</p> <p>【次年度への課題】 ステップルームから学級復帰へ向けた支援の一層の充実。</p> <p>【改善策】 ステップルームの使用にあたっては、管理職・生徒・保護者による面談を定期的実施する必要がある。</p>
教育課程	<p>【現状】確かな学力の育成に向けて、全教員が授業改善に取り組んでいる。</p> <p>【課題】端末を各学習場面に応じて活用する新しい形の授業を全教科で研究する必要がある。</p>	<p>○GIGAスクール構想を推進する。 □端末の活用と生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善に全教員が取り組む。</p>	<p>○①推進チームを新設し、端末を活用した授業の開始・実践等について計画を策定し、作業を進める。 □①目的を明確にした管理職の授業観察や指導課訪問の際に進捗状況を確認する。</p>	<p>○【目標】GIGAスクール構想の推進は計画通り進めることができた。</p> <p>【方策】①推進チームが機能している。</p> <p>□【目標】端末の活用等による授業改善は計画通り進めることができた。</p> <p>【方策】①校長の授業観察や教育委員会学校訪問の際の端末を活用した授業実施率100%達成。</p>	<p>A</p> <p>【次年度への課題】 GIGA端末の効果的な活用方法の研究。</p> <p>【改善策】 研究を推進し、質の高い授業へと更に改善する必要がある。</p>
開かれた学校づくり	<p>【現状】小中・中高連携事業の推進及びHP等を活用した教育活動の情報発信に努めている。</p> <p>【課題】地域との連携を強化する必要がある。</p>	<p>○地域に根付いた学校づくりを推進する。 □本校の教育活動等を積極的に発信し、保護者・地域から信頼される学校づくりを推進する。</p>	<p>○①学校運営協議会、学校応援団、保護者と連携した体験活動を行う。 ②小中・中高連携の体験活動を行う。 □①HPやメール配信、学校だよりを活用した情報発信を行う。</p>	<p>○【目標】地域連携は計画通り実施することができた。</p> <p>【方策】①美化体験活動は3回実施する見通し。②小中連携生徒挨拶運動・中高連携生徒交流会実施。</p> <p>□【目標】教育活動の情報発信は計画通り進めることができた。</p> <p>【方策】①校長から授業、教頭から学校行事、顧問から部活動の様子を発信。</p>	<p>A</p> <p>【次年度への課題】 地域と連携したボランティア活動の推進。</p> <p>【改善策】 地域からのボランティア要請に対応できる体制を整える必要がある。</p>
教職員の資質向上	<p>【現状】概ね組織的に道徳の授業や生徒指導、教育相談を進めている。</p> <p>【課題】道徳の授業を要に豊かな心を育成することが大切である。</p>	<p>○豊かな心を育む教育を推進する。</p>	<p>○①「考え・議論する道徳」の授業スタイルを研究し、全教員が道徳の授業を行う。 ②学年主任を核としてねらいを明確にした学校行事を行う。 ③生徒指導主任・教育相談主任を核として共通認識、共通理解、共通行動を伴いながら組織的に生徒指導・教育相談にあたる。</p>	<p>○【目標】豊かな心の育成は概ね計画通り進めることができた。</p> <p>【方策】 ①研究の成果を南部中学校長会に公開。②1・2学期の学校行事は日程や形を変えてすべて実施。③報告連絡相談の徹底を図り、組織で生徒指導・教育相談にあたった。</p>	<p>B</p> <p>【次年度への課題】 「考え・議論する道徳」授業の一層の推進。</p> <p>【改善策】 研究を推進し、質の高い授業へと更に改善する必要がある。</p>
施設・設備等の管理	<p>【現状】メール配信システムやヘルメットの購入など安全面の整備を進めている。</p> <p>【課題】教育活動における安全を確保することが大切である。</p>	<p>○命を守る学校として、危機管理意識を高め、事故を未然に防ぐ。</p>	<p>○①教育活動中のヘルメット着用の徹底、HPやメール配信を活用した注意喚起、里小と連携した引き渡し訓練を行う。 ②毎月の安全点検を確実に実施し、修繕等の事後対応を市教委と連携して速やかに行う。</p>	<p>○【目標】事故の未然防止は概ね計画通り進めることができたが、交通事故発生。学校安全優良校に選出。</p> <p>【方策】①ヘルメット着用は順調。HPや一斉メール配信を活用した事故防止の啓発を実施。引き渡し訓練はコロナで中止し、引き渡し方法を周知。②安全点検は毎月実施。数年前から懸案の修繕は終了。</p>	<p>B</p> <p>【次年度への課題】 危機管理意識の更なる高揚。</p> <p>【改善策】 交通安全指導を継続する必要がある。里小と連携した引き渡し訓練を1学期の早い段階で実施する必要がある。</p>

学校関係者評価	
※実施日	令和4年2月15日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒の解消に成果を上げていることは評価できる。次年度はステップルーム運営に協力したい。 ・保護者・教職員の学校評価の結果に比べ、生徒の学校評価が低い。生徒の評価にコロナ禍のストレスが表れている。体験活動等の充実が必要である。「清掃活動」は高評価で清掃活動の充実がわかる。生徒はあいさつがよくできている。保護者の評価「進路指導」の「わからない」17%が気になる。教職員の働き方改革が進んでいない。 ・部活動を楽しみにしている生徒が多い。コロナ禍でも充実できる方法を検討する必要がある。 ・靴下の色等の校則の変更は、保護者として大変動かす。
	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想への取組は端末を活用した授業実施率がとても高く評価できる。 ・今後は端末を活用した授業の質の向上が必要である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で学校行事や小中連携体験活動、中高連携体験活動、学校・家庭・地域が連携しての美化体験活動を実施していただいていることに感謝している。ボランティアで参加した生徒が多く、感心した。学校を信頼している保護者も多い。 ・コロナ禍のボランティア活動は、実施方法等を工夫する必要がある。生徒会を動かすことも考えられる。要望があれば協力したい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめを防ぐには、生徒・保護者・学校の信頼関係が大切であり、よくコミュニケーションを取る必要がある。 ・命を軽視する事件が起きた時は、その原因等を考え、議論することも考えられる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生は、交通ルールの遵守等について、小学生や幼い子の手本となってほしい。 ・修繕は順調と聞いて安心した。要望があれば協力したい。